

令和3年度 第2回伝達研修の報告書

令和4年2月15日
ファシリテーター向上委員会
福本 誠司

令和4年2月15日(火)18:30~20:30、今年度2回目となる伝達研修「LIFE活用研修」がオンラインで開催されました。

内容は昨年9月に日本協会主催で開催された「ケアマネジメント研修会-LIFEデータを居宅介護支援に活用する-」の動画視聴方式で参加者は11名でした。

社会保障審議会の委員でもある講師から、今回のデータ活用の大きな目的は「社会情勢に対応する為の個別サービス計画の質の向上」であるとの言葉から、現状の流れの中でケアマネジャーがあまり出てきていない意味が理解でき、一連の流れの中、マネジメントを行う上でどのような思考、能力が求められるのかについて具体的に知る事ができました。

ポイントとして説明があった「分野によってアセスメントを専門職にしてもらう」「手段に踊らされず目的によって使い方を考える」「本来の多職種連携の在り方、アセスメントと目標を共有し足並みを揃える」そのためのツールが「LIFE」である事が理解できました。

ケアマネジャーとして、今後、より効果的な利用者支援を行う為の手段としてLIFEデータを活用できるように、思考や情報を学んでいく必要があると感じました。

また、非常に中身が濃く、本質的な内容で、より多くのケアマネジヤーやケアマネ以外のサービス計画を作成する方々にも知って頂きたい内容であったと思います。

